

# 競技上の諸注意

**本大会は現行のラージボール卓球ルール（競技大会ルール）を適用して実施します。**

## 1 競技方法について

### (1) 共通事項

- ① 各種目とも1マッチ3ゲームで行います。
- ② 各種目共予選リーグの結果により上位・下位トーナメントを行います。  
ただし、大会要項に記載した参加数に達しない種目は、下位トーナメントを実施しません。
- ③ リーグ戦の順位決定は「日本卓球ルール」を適用します。

### (2) 競技大会ルール

両競技者(組)のポイントスコアが10:10に達した時は、  
以降2ポイント差とした競技者(組)を勝ちとします。

## 2 サービスについて(競技大会ルールの一部を抜粋したモノです)

- ① サービスは、フリーハンドの手のひらを開き、その上につかむことなく自由に転がる状態でボールをのせ**2～3秒静止**させる。この状態からサービスは開始される。
- ② サーバーは、ボールに回転を与えることなく、ボールがフリーハンドの手のひらから離れた後、打球される前になにもものにも触れずに落下するように、**16cm以上ボールをほぼ垂直**に投げ上げなければならない。
- ③ サーバーは、ボールが落下する途中を打つものとし、そのボールが最初に自領コートに触れた後、レシーバーのコートに直接触れるように打球する。  
ダブルス競技では、そのボールが最初にサーバーのライトハーフコートに触れ、続いてレシーバーのライトハーフコートに直接触れるように打球する。
- ④ サービスが開始されてから、ボールが打たれるまでの間、ボールは常にプレーイングサーフェスより高い位置でかつサーバー側のエンドラインの後方になければならない。  
またこの間、サーバーまたはダブルスのパートナーの体の一部または着用している物でボールをレシーバーから隠してはならない。
- ⑤ 主審または副審に、競技者の行うサービスが正規の条件に合致しているかどうか見えるようにサービスすることは競技者の責任である。

## 3 促進ルールについて

- ① ゲームが開始後8分経過した場合は、促進ルールが適用される。  
また、両競技者(組)から要請があった場合は、いつでも促進ルールが適用される。
- ② 8分経過した時点で、両競技者(組)のポイントスコアの合計が18ポイントに達した場合、そのゲームに対して促進ルールは適用されない。
- ③ 促進ルールが適用されると、その試合が終了するまで促進ルールが適用される。
- ④ 促進ルールが適用されると、1ポイント毎に交替してサービスを行う。
- ⑤ ゲーム開始後8分に達した時、ボールがインプレーでなかった場合には、

直前のラリーでレシーブを行った競技者のサービスで競技が再開される。

#### 4 ボール、ラケット、ラバーについて

- ① ボールは、ニツタクラージボール44mm(プラスチックボール)を使用します。
- ② ラケット本体には(公財)日本卓球協会が公認したことを証明するJTAAと指定業者名を示す表示マークがなければならない。
- ③ ラバーはITTFまたはJTAAが公認している表ソフトラバーのみが使用できる。粒高ラバーは使用できない(表ソフトラバーではない)。

#### 5 服装等について

JTAA公認の半袖シャツ及びショーツあるいはスカートを着用してください。

**ゼッケンは2021年度(公財)日本卓球協会選手登録ゼッケンを着用してください。**

**ダブルスの服装は出来るだけ同じものを着用下さい。**

#### 6 バッドマナーについて

競技者の行為で、相手競技者に対して不当な影響を与えたり、観客に不快感を与えるような態度は、ペナルティーポイントの対象となる場合があるので慎まなければならない。

#### 7 練習及び休憩時間

マッチ開始前の練習時間及びゲーム間の休憩時間は1分以内とする。

#### 8 選手の呼び出しについて

- ① 選手の呼び出しは原則行いません。
- ② 各選手はタイムテーブルに記載された試合コートに集合し、進行委員又は審判員の確認を受けてください。
- ③ 試合進行上、コート、競技開始時刻を変更する場合があります。場内放送にご注意ください。

#### 9 抗議等について

- ① 競技者(組)は、主審あるいは副審等によるラリーの結果に関する事実問題の決定、あるいは審判長が下したルールの解釈について抗議することはできません。
- ② 現行のラージボール卓球ルールに定めのない事項については、審判長あるいは競技委員長が日本卓球ルールを参考に判断します。